

第 45 回 沖縄県ミニバスケットボール夏季大会
第 42 回 新報児童オリンピック・ミニバスケットボール大会
第 3 回 ファミリーマート
大会要項

○ 趣旨ミニバスケットボール競技を通して、児童の体力づくりと社会性の育成を図るとともにバスケットボール競技の普及発展を図る

1. 主催 沖縄県バスケットボール協会 琉球新報社 沖縄公園スポーツ振興協会
2. 主管 沖縄県バスケットボール協会 U12 部会（沖縄県ミニバスケットボール連盟）
3. 特別協賛 (株) 沖縄ファミリーマート
4. 協力 (株) モルテン (株) ミカサ
5. 後援 沖縄県 沖縄県教育委員会 沖縄市教育委員会 那覇市教育委員会
浦添市教育委員会 豊見城市教育委員会 NHK 沖縄放送局 沖縄テレビ放送
エフエム沖縄 ラジオ沖縄 県総合運動公園運営管理事務所(指定管理者：株式会社トラステック)
6. 期日 2022年7月30日(土)～8月2日(火) **※4日間とも9:00 試合開始**
※開会式・開始式はありません。
7. 会場 沖縄市体育館 ほかに小学校体育館 計 31 会場予定
8. 大会方式 (1) トーナメント戦により実施する。
9. 競技規則
 - (1) JBA のミニバスケットボール競技規則及び本大会申し合わせ事項を適用する。
 - (2) マンツーマンディフェンスの基準規則による。
 - (3) 新ルールを適用する。

10. 参加資格

- (1) 2022 年度において、都道府県バスケットボール協会を経て、公益財団法人日本バスケットボール協会 U12 カテゴリーに登録されたチームおよび競技者であること。(原則として各学校から男女各 1 チームとする)
- (2) 選手の年齢は、2022 年 4 月 1 日時点で 12 歳未満の者
- (3) ベンチで指揮を執るコーチは、JBA 公認 E 級または E-1 級コーチ以上を保有していること。
- (4) チーム責任者は、チームを代表して対外的な窓口となり、参加にかかる手続き等ができること。また、チームに帯同し、チームの最終責任者として活動できる者であること。

11. チーム構成

- (1) 1 チームにつき、コーチ 1 名、アシスタントコーチ 1 名、マネージャー 1 名、チーム責任者 1 名、選手 10 名以上 15 名以内の合計 19 名以内。
ただし、選手登録が 8 名または 9 名のチームは、登録人数による構成を可とする。
- (2) 選手は保護者の同意を得て参加すること。コーチはチームの指導監督にあたるが、選手の保護者が同伴することが望ましい。
- (3) スポーツ傷害保険等は、各チームで必ず加入しておくこと。
- (4) 参加者の大会期間中の疾病及び傷害については、応急処置のみ行うが、その後の責任は負わない。

- ## 12. 表彰
- 優勝チームに優勝旗、優勝杯、賞状、盾、メダルを授与する。
準優勝、3 位、4 位のチームに賞状、盾、メダルを授与する。
ベスト 8 のチームに賞状、盾を授与する。

13. エントリー変更

- (1) エントリー変更は、各会場大会運営責任者へ、第 1 試合の 30 分前までに申し出なければならない。
- (2) エントリー変更において、選手の変更があってもユニフォーム番号のみの変更はできない。

14. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

JBA の「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のガイドライン」を参考に大会運営を行う。

※大会に参加するチーム関係者（保護者含む）は、2 週間前から健康チェックを行い
チェックシートを会場の運営責任者へ当日、提示する。

※各市町村の部活動の対処方針に準ずる。

※チームの都合での大会を辞退する場合は、参加費の返金はありません。

令和4年度

沖縄県バスケットボール協会 U12 年間行事日程表

月	行事日程	会場	備考
4	登録手続き開始（4月中に完了）		
5	第1回常任理事会 14日（土）	田場小学校	
6	第2回常任理事会 21日（土）	田場小学校	
7	夏季県大会申し込み締め切り 8日（金） 県審判・コミッショナー研修会 9日（土）、10日（日） 抽選会及び監督会議 16日（土） 第1回理事会 16日（土）	吉の浦ホール（中城村） 吉の浦ホール（中城村）	
8	第45回夏季県大会 7/30日（土）～8/2日（火） 第2回理事会 2日（火） 第40回スボ少九州ブロックミニバスケット交流大会 8/26日（金）～8/28日（日） 男子：那覇 女子：島尻 R2割当継続 第42回全関西ミニバスケットボール交歓大会 8/12（金）～8/14（日） 男子：宮古 女子：八重山	沖縄市体育館 他15会場 沖縄市体育館 長崎県 ※R5 県 広島県立総合体育館	
9	第3回常任理事会 17日（土）	田場小学校	
10	第32回3×3ミニバスケット大会（4年生以下） 1日（土） ※準備当日朝 第3回理事会	県総レクドーム	
11	第4回常任理事会 5日（土）	田場小学校	
12	冬季県大会申し込み締め切り 2日（金） 県審判・コミッショナー講習会 3日（土） 抽選会及び監督会議 10日（土） 第4回理事会 10日（土） 第36回冬季県大会（選抜・交流） 24日（土）・25日（日）・26日（月） 第5回理事会 26日（月）	吉の浦会館 吉の浦会館 宜野湾市立体育館 他18会場 宜野湾市立体育館	
1			
2	第41回全九州大会 25日（土）～26日（日）	長崎県 ※R5 沖縄県	
3	第21回沖縄県ミニバスケット・オールスターGAME 4日（土）・5日（日） 第5回常任理事会 11日（土） 第53回全国大会 28日（火）～30日（木）	那覇地区 ※R5 八重山 田場小学校 東京都代々木体育館	

【大会申し合わせ事項】

1. 参加上の注意

- (1) 車は必ず指定された駐車場に駐車すること。
※違法駐車をしないよう、保護者への周知徹底をお願いします。
- (2) ゴミはチームで責任をもって持ち帰ること。(保護者への徹底)
- (3) 体育館内でガムを食べないこと。
- (4) 鳴り物の応援は禁止とする。
- (5) 外履きと内履きの区別をつけること。(特にチームのアップ時)
- (6) 学校・体育館の器物を破損させてはいけません。
※もしも破損させた場合は、必ず会場責任者へ伝えてください。
- (7) 大会中の事故ケガ等に関して、主催者は応急処置のみを行う。
- (8) 選手は必ずスポーツ傷害保険に加入し、参加同意書は各チーム代表者が保管する。
- (9) 大会1日目、2日目の第1試合の審判は原則としてトーナメント表の○印と◎印のついたチームが行い、T・○は◎印のついたチームが行う。
- (10) T・○については、3日目まで◎がついたチームが行う。
- (11) 1日目・2日目のコミッショナーは帯同とする。(各チーム1名)
- (12) ベスト16のゲームからの審判・コミッショナーは、連盟で割り当てを行う。
- (13) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した大会運営ガイドラインの追加。
※陽性者が出た場合のチームの対応について
 - 大会期間中、チーム内に陽性者が出た場合は、大会に参加することはできない。
 - 前日までに、チーム内に陽性者が出た場合は、PCR 検査及び医療用抗原検査キットで陰性が確認された場合は参加可能とする。

2. 競技上の注意

- (1) 「2022 バasketボール競技規則ミニBasketボールにおける適用規則の相違点」(2022年4月1日施行)を適用する。
- (2) ユニフォーム番号は原則として4番から始まる一連番号とし、必ず濃淡2色準備する。
- (3) ユニフォームの中から着用するアンダーガーマントについては、ユニフォームと同色とする。また、全てのチームメンバーの主となる色が同じ色でなければならない。
- (4) T シャツ・ソックスの色は、シャツおよびパンツと異なる色であってもよいが、全てのチームメンバーのソックスの主となる色が、同じ色でなければならない。
※「ソックス」においては、今大会において「主となる色がそろっていない場合」でも参加可能とする。ただし、令和4年度冬季県大会では、「主となる色がおなじでなければならない」という規定を適用する。
- (5) 登録協議者が10人以上のチームは、10人未満で大会にエントリーすることはできない。また、プレーヤーにおいて、10名以上で大会エントリーしたチームが、大会当日に、10名未満しか試合に出場できない場合や、8名または9名で大会にエントリーしたチームが、大会当日エントリー数に満たない人数で試合に出場できない場合は、試合は行わぬが、不成立とする。

- (6) 1人以上最大2人のアシスタントコーチを必ず置くこと。チームにアシスタントコーチがいない場合でも、ゲーム継続担保の配慮から、チーム代表者や保護者代表者をアシスタントコーチおよびチーム関係者としてチーム構成に加えること。
- (7) ヘッドコーチが役目を継続できず、スコアシートに記載されたアシスタントコーチ、チーム関係者も役目を継続できない場合、大会主催者が認めた保護者等がヘッドコーチとして役割を引き継ぐことができる。
- (8) 大会申し込み書及びメンバー表を試合当日、第1試合開始30分前までに本部に提出する。
- (9) 組み合わせ番号の若いチームは T・O に向かって右側のベンチとし、ユニフォームは淡色（白）とする。ベンチの交代は認められない。
- (10) ゲームにおけるディフェンスは必ずマンツーマンで行うこと。
- (11) ゲーム中、ベンチから立ち続けて指示できるのは、参加申込書に記載されたコーチ又はアシスタントコーチのどちらか一人とする。（ライセンスタグを着用すること）
- (12) ゲームは各6分間の4クォーター。第1クォーターと第2クォーターの間、第3クォーターと第4クォーターの間に、それぞれ1分間のインターバルを設ける。また、各オーバータイムの間に2分間のインターバルを設ける。ハーフタイムのインターバルは5分間とする。
- (13) 第4クォーターが終わったときに、得点と同点だった場合、1回3分間のオーバータイムを決着がつくまで必要な回数行う。
- (14) 第3クォーターまでに10名以上のプレーヤーが少なくとも1クォーターはゲームに出場しなければならない。
- (15) やむをえずクォーターの途中で交代（怪我等）があった場合、それまで出場していたプレーヤーもその1クォーターを出場したものとみなされる。
- (16) プレーヤーは第3クォーターまでに続けて3クォーター出場してはならない。この条件を満たすために、コート上のプレーヤーを4人以下としてゲームをすることは認めない。
- (17) 各チームに認められるタイムアウトの数は、各クォーターに1回、各オーバータイムに1回である。またそれぞれのタイムアウトは、45秒間とする。
- (18) 交代が認められる時機は、次のときに始まる。
 - ① 第4クォーター・各オーバータイムで、ボールがデッドでゲームクロックが止められたとき。
 - ② 最後のフリースローが成功してボールがデッドになったとき。（両チームとも交代することができる）
- (19) 第4クォーター・各オーバータイムで、ゲームクロックが2:00あるいはそれ以下を示しているときに、相手チームがフィールドゴールで得点しても、ミニバスケットボールの競技規則では、ゲームクロックを止める規定は適用しないため、両チームとも交代することはできない。
- (20) 審判が次の理由でゲームを止めたときは、ショットクロックを24秒にリセットする。
 - ① ボールをコントロールしていないチームのファウルあるいはバイオレーションの場合
※ ボールが、アウトオブバウンズの場合は継続

- ②ボールをコントロールしていないチームに原因がありゲームを止めた場合
 - ③どちらのチームにも関係のない正当な理由でゲームを止めた場合
- ※ただし、ショットクロックをリセットすることが相手チームに不利な状況をつくってしまうと審判が判断した場合は、ショットクロックを継続する。

(21) 次の場合、ゲームの没収によりチームは負けになる。

- ①ゲーム開始予定時刻から15分過ぎてもチームがコートにいない、もしくはプレーする準備のとなつたプレーヤーが5人そろわなかった場合
 - ②ゲームの進行を妨げる行為をした場合
 - ③クルーチーフがすすめたにもかかわらず、なおプレーをすることを拒んだ場合
 - ④規定する出場等の条件をゲーム前、ゲームの途中で条件が満たせなくなった場合
- ※試合開始後に、怪我や退場により3クォーターまでに3回連続出場の選手がでた場合は、ゲームは中断せず、勝ち上がった場合は、没収ゲームとする。
- ⑤試合終了後に、3回連続出場の選手がいることが確認された場合。
 - ⑥没収されたゲームは、20-0で相手チームの勝ちとする。

(22) 試合終了後、速やかに消毒作業を行い、両チームがそろい次第、10分を計測する。

(23) 2試合目のチームが1試合目のT・Oを行う場合、消毒後に両チームがそろい次第、30分間の練習時間を設ける。その中には、試合前10分間インターバルも含む。

(24) 新型コロナウイルス感染拡大予防の観点により、かけ声は行わない。

(25) コーチ、チーム関係者・観客は、ゲームに支障のないよう児童への教育的配慮をもって大会に協力する。(審判に批判はしないようお願いします。)

3. 審判上の注意

(1) 審判のユニフォームは、審判用のシャツ、黒色の長ズボン、黒色のソックスおよび黒色のシューズとする。

(2) 「セカンドユニフォーム」着用の場合は、上下ともセカンドユニフォームとし、クルーで同じユニフォームを着用すること。また、ソックスは黒色とする。

(3) ゲーム開始10分前までに次の事を確認する。

- ①T・Oメンバーの確認
- ②用具(タイマー・ショットクロック)の確認
- ③得点板(得点板チーム名表示)の確認
- ④スコアシートの確認(各チームのオーダー用紙の確認)

(4) ゲーム開始5分前までに次の事を確認する。

- ①1クォーターに出場する選手の確認
- ②コーチ又はアシスタントコーチサインの確認
- ③ゲーム用ボールの準備(各チーム1個)

※使用するボールは、クルーチーフが選ぶ。

(5) クルーチーフは、3分前、1分前の合図を行う。

(6) ハーフタイムに次の事を確認する。

- ①スコアシート確認(TOと各チームのスコアシート確認)
- ②ポゼッション・アローの確認(コートチェンジ)
- ③得点板表示の確認(コートチェンジ)

- (7) 3クォーターの開始前には、10名の選手が出場していること、3回連続の選手がいないことを確認する。ただし、登録が8名のチームにおいては、8名の選手が出場していること、3回連続の選手がいないことを確認する。
- (8) ゲーム終了後、スコアシートを確認し、本部まで提出する。タイマーの計測は両チームそろってから10分間計測する。
- (9) 会場により、スローインに支障がある場合は、ディフェンスを1m程度後方に下がるよう指示する。
- (10) 第4クォーターが終わったときに、得点と同点だった場合、1回3分間のオーバータイムを決着がつくまで必要な回数行う。
 - (各オーバータイムについて)
 - ・後半と同じバスケットを攻撃する。
 - ・インターバルは2分間とする。
 - ・チームファウルは継続する。
 - ・各オーバータイムで1回ずつ45秒間のタイムアウトをとることができる。

4. コミッショナー上の注意

- (1) コミッショナーとしてふさわしい服装（襟付きの上着に、長ズボンが望ましい）で行う。また、笛の準備をすること。
- (2) ゲーム開始まで（10分間）に次の事を確認する。
 - ①コミッショナー席、チェックシート、旗の確認を行う。
 - ②チェックシートの記入状況、コーチサインの確認を行う。
 - ③審判、両コーチとコミュニケーション（あいさつ）を取り、確認（指さし・声出し）を行う。
 - ④TOへの声かけと確認を行う。
- (3) 赤旗のときは、コミッショナーが笛をならす。その際に、タイマーが止まっているか確認をすること。
- (4) 赤旗のときの対応については、コミッショナー委員長資料を参照する。
 - ※ホームページに掲載されています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した 大会運営ガイドライン

《基本方針》

- 安全を最優先にする
- 「新しい日常」「新しい生活様式」への適応を行う
- 不当な扱いや差別などの禁止（誹謗中傷を行わない、許さないこと）

1 部活動及び大会参加について

- (1) 陽性又は濃厚接触者となった選手・職員については、保健所が指定する解除日まで、大会参加はできない。但し、濃厚接触者については、最終接触日から4・5日目の医療用抗原簡易キット検査で陰性であれば5日目解除となるのでその限りではない。
- (2) 保健所等による濃厚接触者の特定・行動制限は行わない地域において、同居家族以外の感染者と接触した者が登校可能となった場合は、部活動及び大会参加はできる。
 - ①学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖に該当する者は、学校長及び主催団体の指示に従うこと。

2 大会運営に当たって

- (1) 選手、保護者の意向を尊重して大会の参加を強制しないこと。
- (2) 発熱はたは体調不良（咳や倦怠感等）がある場合や健康に不安のある選手（微熱、風邪症状等）は、参加しないよう徹底すること。
- (3) 大会に向けた日頃の練習や練習試合等から当ガイドラインに沿った感染予防対策を徹底すること。
- (4) 選手には、免疫力を高めるため、十分な睡眠、バランスの取れた食事を心がけさせること。

3 三密を避ける取組み

- (1) 大会会場（体育館）に入場できるチームの人数を制限する。
 - ① 大会会場（体育館）に入場できる関係者数は以下の通りとする。
 - 選手 15 名（大会参加登録された選手のみ）
 - チーム関係者 4 名（H コーチ、A コーチ、マネージャー、チーム責任者）
 - 原則として、保護者の観戦は 15 名以内とする。ただし、感染の状況、各市町村体育館（小学校を含む）を管理する団体のガイドラインによって、制限または解除される場合がある。
（大会前日までに人数は周知する）
※保護者はギャラリーからの観戦とする。
- (2) 試合間で選手及びチーム関係者を入れ替えるため、試合間を 20 分間程度空ける。
 - ① 試合が終了しベンチ等の消毒終了後、選手及びチーム関係者全員が大会会場（体育館）から出てから次の試合の選手及びチーム関係者が入るようにする。
- (3) ギャラリーで観戦する保護者は、ソーシャルディスタンス（両手を広げた間隔）を心がける。
※大きな声を出しての応援等は禁止とする。（飛沫防止のため）

4 検温及び健康観察について

(1) 大会当日の朝、必ず検温及び健康観察を行い、健康チェックシート(別紙)に記入する。

- ・熱はないか ・咳や鼻水などの風邪症状はないか
- ・だるさや頭痛はないか ・息苦しさはないか

※発熱や風邪症状のある選手やチーム関係者、保護者の大会参加、観戦は認めない。

(2) 「健康チェックシート」は朝のミーティングで提出する。(毎日提出する)

(3) ベンチ入りするスタッフ(4名)及び観戦する保護者は、ネームタグ等をする事。

※タグは各チームで準備する。

※タグをしていない方の観戦は認めない。

(4) 大会会場入り後に発熱症状等、体調不良の選手等は帰宅すること。

(5) 大会終了後、帰宅後も検温及び健康観察を行い、記録しておくこと。

(6) チーム関係者(保護者も含む)及び大会関係者等、体育館へ入場するすべての者は、2週間前から健康チェックを行い、記録しておくこと。

5 手洗い、うがい、消毒について

(1) 体育館への入館前と退館後は手洗い、うがい、消毒を行う。

(2) ワンプッシュ石鹸、消毒液等は各チームで準備する。

(3) 手洗い後の手をふくタオルは共用しないこと。

(4) 消毒をおこなう箇所の分担をしておくこと。(参加者全員で作業に取り組めるようにする。)

○ベンチ:試合で使ったチーム ○TO席:TOを行ったチームの選手及び保護者(大会役員)

○本部席:大会役員 ○ギャラリー:観戦したチームの保護者

6 マスク等について

(1) 基本的にマスクは会場入りから帰宅まで、全員着用すること。

(2) 試合前の練習、試合に出ている選手はマスクを外す。

(3) 試合に出ていない選手及びベンチ入りするチーム関係者はマスクを着用する。

(4) 外したマスクは清潔に保つようにする。(個別の袋等を用意して入れる。)

(5) マスク着用時も水分補給をこまめに行う。

7 試合中の注意事項

(1) 試合前の声出しや円陣は行わない。また、ハイタッチも行わない。

(2) 試合前及び試合終了後の握手は行わない。(キャプテンのあいさつもしない。)

(3) ベンチにいるメンバーはソーシャルディスタンスを意識する。

(4) タオルや飲み物用のコップの共用はしない。(各自で用意する。)

(5) マスクを外しての指示やアピール等をしない。(飛沫防止のため)

(6) マスクを着用しても大声でのコーチングや応援は行わない。(飛沫防止のため)

8 大会前の対応について

(1) 連盟及び参加チームはそれぞれ感染対策責任者(担当者)を設置し、事前・大会期間中・事後に相互が連絡を取り合える環境を構築すること。

※連盟は理事長を感染対策責任者とする。

※大会参加申し込み書に記載のあるチーム責任者を感染対策責任者とする。

(2) 連盟は、大会参加チームの連絡先を管理すること。

※個人情報保護法に則って適切に管理を行う。

(3) 大会関係者は、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)のダウンロードを推奨する。

(4) 大会2週間前から各チームは健康チェックを徹底すること。特に発症の2日前(48時間前)からは感染リスクが高まるため、健康チェックを徹底しておくこと。

9 その他

(1) 常時窓を開けて換気を行う。雨天時はハーフタイム及び試合間に行う。

(2) 控え場所やミーティングの際には三密にならないようにする。

(3) 個人用の水筒を準備する。(補給する分も用意しておく)

(4) 大会期間中に気分が悪くなった選手は保護者へ連絡し、帰宅させる。

(保護者が迎えに来るまでの控え場所は、他の者と距離を置くこと)

(5) 試合終了後、自チームが観戦したギャラリーの手すり等は、消毒液を使って消毒すること。

(6) 大会終了後、自チームの控え場所は、消毒液を使って消毒してから帰宅すること。

(7) 体育館2階からの観戦は、ソーシャルディスタンスの範囲内で認めるが、守れない場合は禁止とする。

(8) 試合終了後の入れ替えは、密にならないよう順番を決めて行う。(大会本部の指示)

(9) 陽性者、濃厚接触者がチーム内で出た場合は、大会主催感染対策責任者(理事長)へチーム状況の報告を行い、大会参加の可否について協議する。

※JBAガイドライン、県教委ガイドラインにより判断する。

(10) 大会に参加しているチームの学校が臨時休校等となる場合は、感染対策責任者(チーム責任者)と大会主催感染対策責任者(理事長)で参加の可否を協議する。

(11) 大会終了後2週間以内に新型コロナ感染症を発症した場合は、速やかに大会主催感染対策責任者(理事長)に報告し、指示を仰ぐようにする。

※発症から過去2週間の検温を確認する場合がある。

(12) チーム事情により大会に参加できないチームが多数ある場合は、大会を開催するか再度検討する場合もある。

参考資料

○JBA「バスケットボール活動再開に向けたガイドライン(第4版)」

○沖縄県警戒レベルの判断基準

○新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した大会運営ガイドライン

(沖縄県ミニバスケットボール連盟・11/7版)

○沖縄県対処方針変更に伴う令和4年4月1日以降の県立学校における部活動について(通知)